

宮城県知事
村井 嘉浩 殿



2024年2月9日

4病院再編(主に県立精神医療センターの在り方)についての要望書

一般社団法人日本精神科看護協会宮城県
支部長 森



下記の件につきまして、是非ともご検討をいただきたくお願い申し上げます。

1. 要望の趣旨

宮城県における4病院再編の計画が進められていますが、この計画の中に、県立精神医療センターが含まれています。宮城県の精神医療保健福祉にかかわる日本精神科看護協会宮城県支部では、この計画の進め方、特に県立精神医療センターの在り方等について注視してきたところであります。

兼ねてより、宮城県の精神医療を取り巻く情勢が変わるのではないかと人々の不安がありますが、計画が進むにつれ、不安がより増大している現状があります。この背景には、精神医療に関わる当事者や家族、医療従事者や福祉関係者等への丁寧な説明がないままに計画が進められていることや、その計画の唐突さ(根拠が不明な富谷への移転・合築計画、民間誘致への方向転換、突然のサテライト案など)に翻弄され、不安だけでなく疑念等も生じております。

一方で、県立精神医療センターの老朽化はさらに進行し、修繕費が膨大にかかっていることも、建て替えの在り方への疑念も拭えないところです。これらのことから、以下のことを求めます。

2. 要望内容

- (1) 県立精神医療センターの今後に関する決定は、当事者及び家族、地域の関係機関の意向を反映し、県南地区の精神医療の継続が保たれることを求めます。
- (2) 県立精神医療センター利用者、特に県南地区の当事者及び家族、地域の関係機関への丁寧な説明を求めます。
- (3) 県立精神医療センターに勤務する職員に対する丁寧な説明と十分な協議を求めます。
- (4) 県立精神医療センターがこれまでに培ってきた、精神障害者を支える地域における様々な活動、及び「にも包括」支援が今後滞ることがないように、県南地区を中心とした精神医療保健福祉関係者への明確な説明を求めます。

以上